

現 場 説 明 書

作業名 収穫調査委託（扇田西・大湯地区）

作業場所 秋田県大館市十二所
字別所沢国有林 1034 林班い 3 小班外

米代東部森林管理署

事業実行における説明事項

1. 調査数量等

調査箇所及び調査数量等については、別紙1「収穫調査委託箇所の概要」による。

2. 支給材料及び貸与品について

調査に必要な材料については、当署において支給するので、仕様書等に基づき適正な管理に努めること。

なお、材料（貸与品）及び数量は別紙2によるが、事情やむをえない場合のみ追加を認める。

3. 国有林地理情報システムの借受けについて

契約締結後は、申請により国有林地理情報システムの地図データ（シェープファイル）、衛星画像の借受けが可能です。

地図情報等の借受け後は責任を持って適正に管理すること。

4. 国有林野情報管理システムの使用について

収穫調査復命書情報の入出力は、受託者が保有するパソコンから行うが、入出力に当たり国有林野情報管理システム利用申請が必要なことから、利用申請書を提出すること。なお、調査報告書作成に係る作業場所及び作業に当たり必要となる設備、備品及び消耗品等については受託者の責任において用意すること。

5. 調査箇所の境界について

収穫調査箇所と隣接する小班等の境界に疑義が生じた場合は、すみやかに監督員の指示を仰ぐこと。

なお、別添図面で示した「標示を省略する境界」については、区域標示及び伐開を省略することとする。

6. 林況調査について

収穫調査箇所は、林内を十分踏査して林分状況に即した標準地を設定し、必要に応じて適切に林相区画（除外地の設定）を行い、より精度の高い調査を行うこと。

7. 復命書の提出について

成果品（収穫調査復命書）は、契約期間内に提出すること。

8. 収穫調査委託業務における溪畔周辺の取扱いについて

溪畔周辺の取扱いについては、別紙3のとおり。

9. GNSS受信機を用いた測量について

「収穫調査委託箇所の概要」の測量方法に「GNSS又はコンパス」と指定された

箇所について、受託者がGNSS受信機を用いて測量を行うことを選択した場合は、別紙4「特記仕様書（GNSS受信機を用いた測量について）」に基づき実施すること。

収穫調査委託箇所の概要

番号	林名区分	国有林名等	林小班	施策群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域面積(ha)	伐採帯面積(ha)	立木調査面積(ha)	調査材積(m³)	区域標示距離(km)	通勤距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	搬出関係調査の要否	更新関係調査の要否	蓄積把握の要否	実測作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	品質区分(地上型3Dレーザ計測)	調査区分(地上型3Dレーザ計測)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別
1	国有林	別所沢	1034ⅴ3	植栽型複層林	人工林	39	スギ	中	密	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	1.30			30	0.52	24	2	否	否	否	否	否				干害保、普通共	1034ⅴ4襲用、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材	
2	国有林	別所沢	1034ⅴ4	植栽型複層林	人工林	39	スギ	中	密	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	3.53		0.10	75	1.25	24	14	否	否	否	否	要	0.18			干害保、普通共	区域標示を一部省略	2	別所沢林道通行可能	製品資材	
3	国有林	別所沢	1034ⅴ5	植栽型複層林	人工林	37	スギ	中	密	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.66			80	1.04	25	39	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1034ⅴ4襲用		別所沢林道通行可能	製品資材		
4	国有林	別所沢	1034に	スギ・アカマツ長伐期	人工林	73	スギ	中	疎	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	21.58			1,908	3.64	25	22	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1035ろ襲用、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材		
5	国有林	別所沢	1034ほ	スギ・アカマツ等	人工林	63	スギ	中	中	皆伐	100	標準地(簡標)	1.60		0.05	562	0.76	24	3	否	否	否	否	要	0.09	0.67		干害保、普通共		1	別所沢林道通行可能	製品資材	
6	国有林	別所沢	1034ち	スギ・アカマツ等	人工林	62	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	11.84			616	1.72	25	15	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1035ろ襲用、除外地あり、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材		
7	国有林	別所沢	1035い	スギ・アカマツ等	人工林	62	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	7.48			709	1.28	25	4	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1035ろ襲用、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材		
8	国有林	別所沢	1035ろ	天然更新型複層林誘導	人工林	61	スギ	急	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	11.38		0.25	775	1.13	25	9	否	否	否	否	要	0.35		干害保、普通共	区域標示を一部省略	3	別所沢林道通行可能	製品資材		
9	国有林	別所沢	1035ろ1	アカマツ	人工林	61	アカマツ	急	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	11.00		0.25	657	1.20	25	27	否	否	否	否	要	0.35		干害保、普通共	区域標示を一部省略	3	別所沢林道通行可能	製品資材		
10	国有林	別所沢	1035ほ1	植栽型複層林	人工林	60	スギ	急	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.25			152	0.64	25	28	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1035ろ襲用、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材		
11	国有林	別所沢	1035ほ2	植栽型複層林	人工林	60	スギ	急	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	4.31			183	0.76	25	20	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1035ろ襲用、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材		
12	国有林	別所沢	1035ほ3	アカマツ	人工林	60	アカマツ	急	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	2.65			146	0.73	25	31	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1035ろ1襲用、区域標示を一部省略		別所沢林道通行可能	製品資材		
13	国有林	別所沢	1035へ2	植栽型複層林	人工林	39	スギ	中	密	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	2.94			69	0.86	24	4	否	否	否	否	否			干害保、普通共	1034ⅴ4襲用		別所沢林道通行可能	製品資材		
14	国有林	別所沢	1035へ3	植栽型複層林	人工林	99	スギ	中	疎	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	2.76		0.10	119	1.19	24	9	否	否	否	否	要	0.18		干害保、普通共		2	別所沢林道通行可能	製品資材		
15	国有林	大湯外16	3040ほ	植栽型複層林	人工林	57	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	13.56		0.30	1,797	1.84	37	27	否	否	否	否	要	0.39		水涵保、普通共	区域標示を一部省略	3	荒川林道通行可能	製品資材		
16	国有林	大湯外16	3040ほ1	スギ・アカマツ等	人工林	56	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.07			139	0.00	37	25	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を省略		荒川林道通行可能	製品資材		
17	国有林	大湯外16	3040に	スギ・アカマツ等	人工林	52	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	6.23			851	0.93	37	10	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		荒川林道通行可能	製品資材		
18	国有林	大湯外16	3040に1	植栽型複層林	人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.06			407	0.40	37	21	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		荒川林道通行可能	製品資材		
19	国有林	大湯外16	3040へ	スギ・アカマツ等	人工林	52	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	6.43			219	1.02	36	23	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
20	国有林	大湯外16	3040へ1	スギ・アカマツ等	人工林	55	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	2.35			271	0.72	37	16	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
21	国有林	大湯外16	3040へ2	スギ・アカマツ等	人工林	54	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	4.37			500	0.39	36	14	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
22	国有林	大湯外16	3040へ3	スギ・アカマツ等	人工林	52	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.52			58	0.16	36	9	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
23	国有林	大湯外16	3040へ4	天然更新型複層林誘導	人工林	52	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.58			63	0.35	36	13	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
24	国有林	大湯外16	3040ち		人工林	47	スギ	緩	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	4.68			399	2.19	36	8	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
25	国有林	大湯外16	3040り	スギ・アカマツ等	人工林	60	スギ	緩	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.33			51	0.00	36	7	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3040ほ襲用、区域標示を省略		国道103号通行可能	製品資材		
26	国有林	大湯外16	3045い		人工林	58	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.99			230	0.64	37	8	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
27	国有林	大湯外16	3045ろ		人工林	59	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.29			261	0.29	37	10	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
28	国有林	大湯外16	3045ほ	スギ・アカマツ等	人工林	64	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	11.29			969	1.57	38	12	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
29	国有林	大湯外16	3045に	植栽型複層林	人工林	60	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.72			60	0.24	38	4	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
30	国有林	大湯外16	3045ほ1	スギ・アカマツ等	人工林	45	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.45			14	0.00	38	9	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045ほ4襲用、区域標示を省略		国道103号通行可能	製品資材		
31	国有林	大湯外16	3045ほ2	スギ・アカマツ等	人工林	45	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.59			7	0.35	38	8	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045ほ4襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
32	国有林	大湯外16	3045ほ3	スギ・アカマツ等	人工林	48	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.92			234	0.74	38	20	否	否	否	否	否			水涵保、普通共	3045ほ4襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材		
33	国有林	大湯外16	3045ほ4	スギ・アカマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	5.25		0.15	242	0.81	38	29	否	否	否	否	要	0.22		水涵保、普通共	区域標示を一部省略	2	国道103号通行可能	製品資材		

収穫調査委託箇所の概要

番号	林名区分	国有林名等	林小班	施策群	人天別	林齢	代表樹種	林地傾斜	下層植生	伐採方法	伐採率(%)	調査方法	調査区域面積(ha)	伐採帯面積(ha)	立木調査面積(ha)	調査材積(m³)	区域標示距離(km)	通勤距離(km)	歩行時間(分)	押印の要否	搬出関係調査の要否	更新関係調査の要否	蓄積把握の要否	実測作業の要否	コンパス実測距離(km)	GNSS又はコンパス計測距離(km)	品質区分(地上型3Dレーザ計測)	調査区分(地上型3Dレーザ計測)	法令関係	その他	標準地設定箇所数	林道通行状況	立製別	
34	国有林	大湯外16	3045115	スギ・アカマツ等	人工林	46	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	3.18			155	0.94	38	35	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045114襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
35	国有林	大湯外16	3045お	植栽型複層林	人工林	61	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	7.40			388	0.89	39	24	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
36	国有林	大湯外16	3045お1	植栽型複層林	人工林	60	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	8.25			636	0.74	39	9	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
37	国有林	大湯外16	3045お2	天然更新型複層林誘導	人工林	61	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.65			34	0.00	39	5	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を省略		国道103号通行可能	製品資材	
38	国有林	大湯外16	3045お3	植栽型複層林	人工林	63	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	1.02			58	0.43	39	3	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
39	国有林	大湯外16	3045お4	植栽型複層林	人工林	59	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	4.62			257	0.36	39	18	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
40	国有林	大湯外16	3045や	植栽型複層林	人工林	65	スギ	平	疎	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	0.81			49	0.28	39	2	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
41	国有林	大湯外16	3045け	スギ・アカマツ長伐期	人工林	60	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	1.73			75	0.47	39	27	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
42	国有林	大湯外16	3045ふ	スギ・アカマツ等	人工林	69	スギ	中	疎	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	2.43			156	0.23	38	25	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
43	国有林	大湯外16	3045こ	スギ・アカマツ長伐期	人工林	62	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(簡標)	9.89		0.20	444	1.44	38	14	否	否	否	否	要	0.26				水涵保、普通共	区域標示を一部省略	2	国道103号通行可能	製品資材	
44	国有林	大湯外16	3045こ2	植栽型複層林	人工林	61	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	4.86			228	0.23	39	19	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
45	国有林	大湯外16	3045え	スギ・アカマツ長伐期	人工林	62	スギ	中	中	列間(簡標)	25	標準地(襲用)	7.32			348	2.84	38	4	否	否	否	否	否					水涵保、普通共	3045こ襲用、区域標示を一部省略		国道103号通行可能	製品資材	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	216.12	0.00	1.40	15,681	38.21	—	—	—	—	—	—	—	2.02	0.67	—	—	—	—	—	—	—	—

支給材料及び貸与品

収穫調査委託(扇田西・大湯地区)				
品名	品質・規格	数量	単位	引渡場所
番号札	黄色(周囲測量)	1,500	枚	米代東部森林管理署
	白色(標準地)	100	枚	
野帳	立木調査野帳(直径毎木)	0	冊	
	立木調査野帳(精密毎木)	2	冊	
	測量野帳	1	冊	
復命書資料袋		110	袋	

別紙 3

収穫調査業務委託における溪畔周辺の取扱に関する特記仕様書

（区域の設定について）

・ 溪畔周辺区域が含まれると説明された収穫調査箇所においては、区域の範囲等について監督員と打合せのうえ決定するものとする。なお、復命書に添付する施業実施計画図及び実測位置図には、沢に青色を付して凡例に溪畔である旨記載するものとする。

（主伐の調査について）

・ 皆伐・複層伐の調査については、溪畔周辺区域を保護樹帯として設定・区分し、必要に応じて間伐するものとする。なお、分収林等において契約どおり実行する場合は従来どおり区域全域の調査を行うものとする。

・ 択伐の調査については、溪畔周辺区域も含めて調査を行うものとする。なお、調査にあたっては本来成立すべき植生の維持・形成に配慮した選木とする。また、必要に応じて伐採を見合わせた区域を除外地として設定するものとする。

（間伐の調査について）

・ 毎木調査法による定性間伐の調査については、溪畔周辺区域も含めて調査を行うものとする。なお、調査にあたっては本来生育すべき樹種以外を選木するものとする。また、必要に応じて伐採を見合わせた区域を除外地として設定するものとする。

・ 毎木調査法による列状間伐の調査については、溪畔周辺区域も含めて調査を行うものとする。なお、必要に応じて伐採を見合わせた区域を除外地として設定するものとする。

・ 標準地調査法による定性間伐・列状間伐の調査については、調査は従来どおり行うものとするが、標準地の設定箇所は溪畔周辺区域外とする。また、必要に応じて伐採を見合わせた区域を除外地として設定するものとする。

（搬出計画図の作成について）

・ 搬出計画図（搬出系統図）の作成にあたっては、できるだけ水際に近い位置での森林作業道作設を想定しないよう留意するものとする。

特記仕様書(GNSS 受信機を用いた測量について)

この特記仕様書は、測量方法に「GNSS 又はコンパス」と指定された調査箇所の測量作業において適用する。

1. 測量方法について

測量方法に「GNSS 又はコンパス」と指定された調査箇所においては、GNSS 受信機を用いて測量することを基本とするが、受注者の判断によりコンパスを使用することも可とする。

2. 使用する GNSS 受信機について

東北森林管理局国有林野産物収穫調査規程運用6第5項に定める方法が実施可能な機種を使用すること。

3. 精度の検証について

GNSS 受信機を使用する際には、作業前に受信精度の確認を行い、PDOP 値が安定的に4以下を維持できない可能性がある場合には、その他の測量手法を検討すること。

4. 提出物について

測量結果は別紙「測量野帳(GNSS 測量用)」に取りまとめるとともに、実測原図及び実測位置図等に反映すること。

また、GNSS 受信機で取得した電子データについては、事前にウイルスチェックを行ったうえで、電子メール等で提出すること。

5. 変更契約について

受注者の判断によりコンパス測量を行ったものについては、原則として変更契約の対象としないが、第3条の精度検証の結果に基づき GNSS 以外の測量方法を選択した場合や、その他の理由により GNSS 受信機を使用することが適当でないと判断される場合には、監督職員と協議のうえ変更することができる。

6. その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じ監督職員と協議のうえ決定すること。

測 量 野 帳 (GNSS測量用)

使用機種： 面積 (ha)： 国有林 林班 小班
 測 地 系： 外 周 (m)： 調 査 年 月 日 年 月 日
 座 標 系： 調 査 員

測点 番号	座標値				測定 回数	PDOP	衛星数	方位角 (度)		水平距離 (m)		備 考
	緯度	経度	X	Y								
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
0												
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
0												
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
0												

※1 座標値の表記は小数点第1位以上とし、機器の測定可能な限り詳細に記載すること。

※2 表は必要に応じて修正することを可とするが、座標値、測定回数、PDOP値及び衛星数の記載は必須とする。

作業名 収穫調査委託（扇田西・大湯地区）

現場説明に対する質問回答書

現場説明に対する質問事項	質問事項に対する回答